三菱電機パッケージエアコン別売部品　吹出口ユニット据付工事説明書

箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

① 吹出口ボックス	② 吹出口パネル	③ 座付ネジ	④ シール材
1セット	1セット	M4×0.7　4本	各2枚（計4枚）

注1.　吹出口ユニット用のダクトは、下記別売部品をご使用ください。
- PAC-SA14FD（1m）、PAC-SA15FD（2m）

注2.　市販のダクトをご使用の場合は、断熱がしっかりしたダクトをご使用ください。（適合ダクト径は、内径φ200mmです。）

注3.　本体機種によっては、本体ユニット内ファン用の配線を特強タップに切り換えてご使用ください。くわしくは本体配線図をご覧ください。又、ダクト系圧損が大きい時も同様にタップ切り換えをしてください。

形　　名
PAC-SA20UN
PAC-SH19UN

安全のために必ず守ること

●ご使用の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

●取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠ 警告

据付は、販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付工事は、この据付説明書に従って確実に行なってください。又、製品本体側の据付説明書、取扱説明書を必ず一読してください。
据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け（移設）・電気工事をする前に

⚠ 注意

電気配線工事がある場合は、電流容量、規格品の配線にて工事をしてください。漏電や発熱・火災の原因になります。

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かないでください。
頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する恐れがあります。

ドレン配管工事がある場合は、据付説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう保温してください。
配管工事に不備があると、水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。

冷媒配管工事がある場合は、結露しないように確実に断熱を行なってください。
不完全な断熱施工を行なうと配管等表面が結露して露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。

1. 取 付 前 に

天井張り後は、取付けられません。

（注1）　吹出口ユニット据付場所は、温度分布を考え決定してください。

（注2）　吹出口ボックス①は、天井張り作業前に取り付けてください。

2. 吹出口ユニット据付

（1）吹出口ユニットの取付用吊りボルト及び天井開口部は、 図1 図2 の通りです。

（2）吹出口ボックス①を取付けてください。

この場合、天井下面と、吹出口ボックス①の下部との間が65mmになるように調整してください。

図1 吹出口ボックス

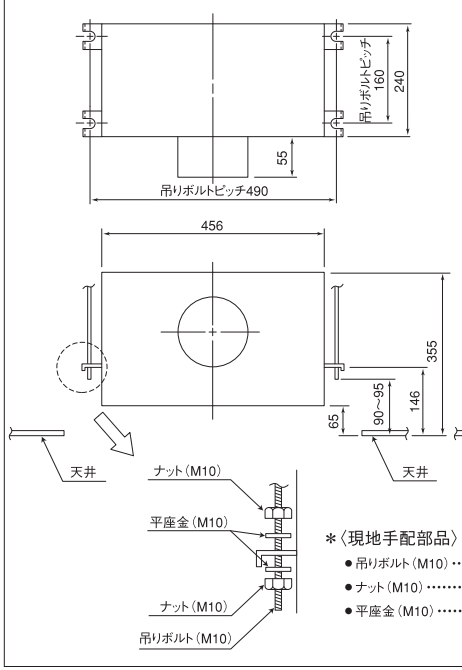
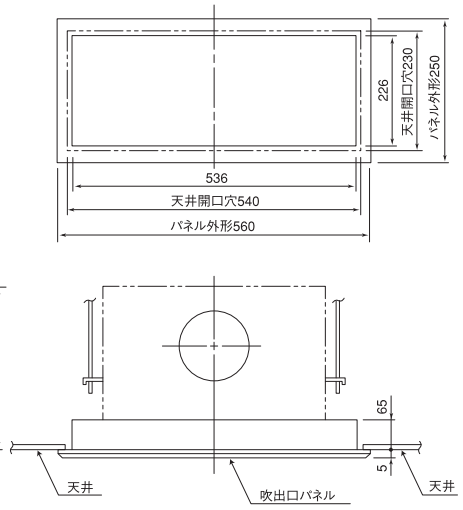


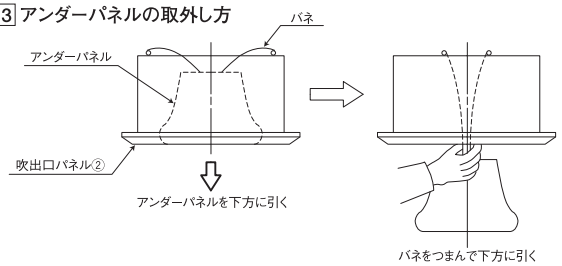
図2 吹出口パネル



＊〈現地手配部品〉
- 吊りボルト（M10）…4本
- ナット（M10）……8個
- 平座金（M10）……8個

（3）吹出口パネル②のアンダーパネルを 図3 に従い取外してください。

図3 アンダーパネルの取外し方



（4）吹出口パネル②を 図4 に従って吹出口ボックス①に座付ネジ③（4本）で取付けてください。

この場合、吹出口ボックス①と吹出口パネル②の間、及び天井と吹出口パネル②との間にすきまがありますと風もれによる露付、露たれの原因となりますので、絶対にすきまがないようにしてください。（ 図5 参照）

（注）吹出口ボックス①と吹出口パネル②の間にすきまのある場合はシール材④を吹出口ボックス①に貼りシールしてください。

図4 吹出口パネル②の取付図

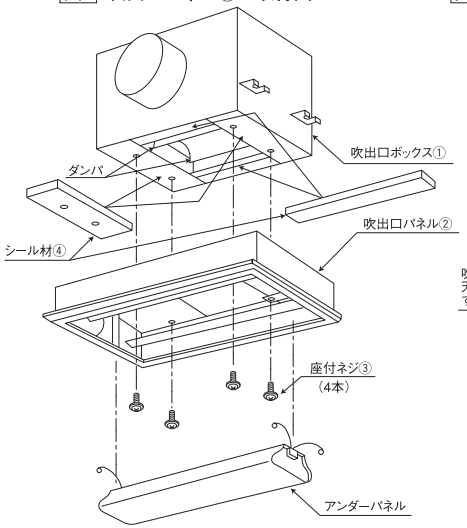
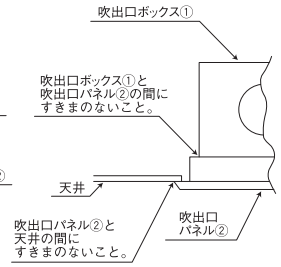
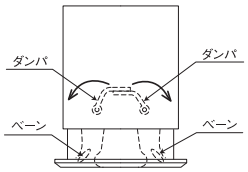


図5 吹出口ユニット取付け



（5）風量調整を 図6 に従い行ってください。

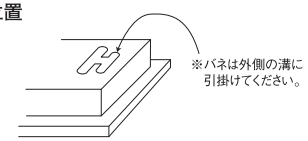
図6 風量調整



◎風量調整は、吹出口ボックス①内のダンパを回転させて調整します。
通常は 図6 の位置でご使用ください。左右のバランスをとる時は、ダンパを回転させて調整してください。

（6）アンダーパネルを（3）項の逆手順で取付けてください。

図7 バネ引掛位置



以上で作業は終了です。

3. ダクトの取付方法

吹出口ボックス①にダクト（内径φ200）をバンドで固定してください。（ 図8 参照）

（注1）この時空気が漏れない様しっかり固定してください。

（注2）吹出口ボックス①とダクトの接続は、天井張り前に施工してください。

（注3）接続部の断熱は、十分に施工してください。

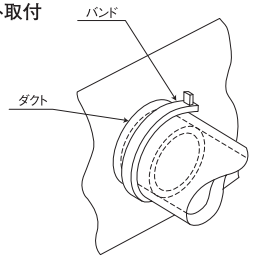



図8 ダクト取付